

春之輔さん(中央)と意見交換する学生たち。天満天神繁昌亭で



相愛大 人文学部演習で開催企画

相愛大学(大阪市住之江区)人文学部の学生が、若者に落語の面白さを伝えるプロジェクト「若者たちへつなげるR・A・K・U・G・Oの世界」に取り組んでいる。大阪文化の継承による地域貢献を進めたい相愛大学と、同大学客員教授で上方落語協会副会長でもある落語家の桂春之輔さんの「若者で寄席を満席にしたい」との思いが台致。同学部人文学科2回生の必修科目「社会人基礎力形成演習」として9月に始まった。

天満天神繁昌亭(同市北区)で開かれたミーティングには人

文学科20人らが参加。系列の相愛高校(同市中央区)の生徒10人も加わり、吹奏楽での出ばやし演奏やテレビドラマをアレンジした新作落語創作などのアイデアを出し合った。今後、打ち合わせを重ね、来年秋に繁昌亭で若者のための落語会を開く予定。春之輔さんは「落語の魅力は聞き手のイマジネーションを限定しないところ。落語の面白さを知って、アイデアをどんどん出してほしい」と話す。人文学部の釈徹宗教授は「初めて落語に触れる学生も多かったが、想像以上に反応がよかった。若い人の感性を生かし、落語会を成功に結びつけてほしい」と期待している。

【進藤郁美】

リーダー育成探りシンポ 阪大・200人参加

大阪大学はこのほど、シンポジウム「ヒューマンウェアで描く未来～リーダー育成への布石～」を大阪府豊中市のホテルで開いた。「世界屈指のグローバル大学」を目指すため人材育成のヒントを得ようと開催したもので、学生や研究者ら約200人が参加した。

シンポでは里見朋香・文科省高等教育局大学振興課長が基調講演、「産官学が一体となり、社会の多様な場面で活躍するリーダーを育成してほしい」と要望。続いて西尾章治郎

ながらイノベーション(革新)を創起する力を育てている」と阪大の現状を報告した。さらにマイクロソフトリサーチアジア研究所の辻井潤一さんらをパネリストに迎え、学生と熱い討論を繰り広げた。

ヒューマンウェアは人間との関わりを重視する情報技術で、阪大では情報科学、生命科学、認知・脳科学にまたがった研究分野の発展をけん引できるリーダーを育成する「複合領域型」教育プログラム「ヒューマンウェアイノベーショ

学生のアイデア詰め込み落語会

トップインタビュー

関西初の体育系単科大学50周年を迎える。これまで、一トを多数輩出してきたがに教育学部を新設し、大学たばかりの岩上安孝学長(

— 大学は学生の教育のほか、地域との連携も重要な任務です。

◆ 茨木市から熊取町に移って四半世紀が過ぎました。大学の機能をどう生かしてもらうかを常に念頭に、町と協議して「健康作り講座」や町民ロードマラソン、学生によるスポーツ教室などを実施してきました。町の人たちにスポーツをする機会を提供すること

す。これまで、教員志望の卒業生は主に中学、高校の教員育成、現在、卒業生の進路は教職と企業で半々です。ひと

大阪体育大学 1965(昭和40)年、「不断の努力により知・徳・体を修め社会に奉仕する」を建学の精神として大阪府茨木市に開学。関西では初の体育大学で、最初は体育学部のみスタートだった。89年に大阪府熊取町に移転した。来年1月11日、大阪市中央公会堂で開学50周年記念シンポジウム「体育・スポーツの力～新しい時代を切り拓く」を開催する。卒業生数は1万8000人を超え、米大リーグ・レッドソックスの上原浩治投手らがいる。本部は大阪府泉南郡熊取町朝代台1の1。電話072・453・7070(入試部)。

— ツを専に発展してきている。欧州のサッカーに比べると、日本のサッカーはラグがなかなか根付か象です。スポーツを教野でとらえるから、指選手の間に上下関係はないけれど、両者間がもっと詰まれば、面白い結果が出るのではなようか。